

科目名 (英)	購読演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	三塚／沖
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜2限 月曜3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容実務21年、美容学校教務歴9年の教員が、自己分析、グループワーク、お客様体験を通して、職業観を養う。 レクリエーションを通し、自己受容・他者信頼・他者理解力を養い、職業人に必要なコミュニケーション力やプレゼンテーション力を身に付け、美容師として必要な社会人養育を行う。							
【授業を通じての到達目標】							
自分の強みを理解し自己肯定感を高める。また他者を受け入れることができる。 業界、職業理解を深め就職活動に活かせるコミュニケーション力を身に付けることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	サポートアンケート/ドリームプラス確認						
2	ITリテラシー/コミュニケーション力向上の為のグループワーク(偏愛マップ)						
3	学んだことの復習(現状の把握)						
4	ゴールデンウィーク後振り返り/ハイパーUQ						
5	職業理解(お客様体験サロン調べ)						
6	3つの習慣						
7	自己分析(認知特性)/着付け選択						
8	職業理解(お客様体験 後教育)						
9	美容師像の明確化						
10	自分の「好き」を明確化しよう コラージュ①						
11	自分の好きを表現しよう コラージュ②/後期専攻授業選択						
12	業界理解(サロン調べ)						
13	履歴書基礎知識						
14	チームワーク向上の為のグループワーク					定期試験 100点	
15	ベルリン競技決め						
【特記事項】				【評価について】 ●定期試験100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 (Beauty Practice)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神谷／阿部／南本／金谷／手代木／飯野／田中／ 網野 張／佐々木／高比良／樋口／神子島／根津
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	300 (10)	開講区分	前期 月曜1.2限 月曜3.4限 火曜3.4限 火曜1.2限 木曜3.4限 木曜1.2限 金曜1～4限 金曜1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現役美容師または実務経験のある講師がサロンワーク、シャンプー、カット、カラー、ワインディング、ドライ、アイロンワークの基礎技術、基礎知識から応用までを実践を交えて習得できる授業を行う。							
【授業を通じての到達目標】							
卒業後アシスタントとして必要な知識、技術、態度を身につけ、現場でその力を発揮できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	セット面誘導後クロス掛け。カウンセリングの仕方						
2	お客様・技術者・ヘルプ役に分かれて相モデルでスタイリングしていく						
3	来店からカウンセリングでメニュー決め(トリートメントorヘッドスパ)、施術、退店までの実践						
4	クロスのかけ方、トリートメント塗布方法						
5	バックシャンプー						
6	サイドシャンプー						
7	カット基礎						
8	カット基礎						
9	カラー基礎						
10	ワインディング基礎						
11	ワインディング応用						
12	ワインディングタイム計測						
13	ドライ基礎						
14	アイロンワーク基礎						
15	ドライ・アイロンワーク応用					定期100点	
【特記事項】				【評価について】 ●定期試験100点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	運営管理 (Operating administrtation)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜2限 火曜3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
大学(法学部法律学科)卒業、高等学校第1種免許(公民)の教員免許を取得。大学卒業後、会社員として4年間勤務。着物に魅力を感じ着付け教室に通い、着付け教授免許を取得。美容師養成施設で6年間着付けの講師に従事し、現在は筆記科目の関係法規、運営管理の講師にも従事しています。美容師養成施設の講師歴は15年以上です。また個人事業主として着付け・組紐教室を開業し、成人式や入学式、卒業式などは着付け師の業務も行っていきます。 将来皆さんが美容師として働く際に役立つ専門知識だけでなく、顧客として、従業員として、経営者としての観点から普段の生活にも参考になるような知識をお伝えします。 目的:経営者、従業員、顧客など様々な視点から基本的な知識を学び、美容の技術を習得する皆さんの力を顧客のために活かせるようにすることを目的としています。 概要:美容師国家試験の筆記試験科目の1つです。この科目では、経営者の考え方や経営が果たす責任・役割や接客サービスについて、また「年金、健康保険、雇用保険、労働者災害補償保険等」の各種保険や資金管理・税金について学びます。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師(社会人)に必要な基本的な知識を身に付ける。 様々な立場からの「物の見方・考え方」ができるように視野を広げる。 世の中の変化と競争に対し、柔軟な対応ができる美容師になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公益社団法人日本理容美容教育センター 運営管理							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	本科目の説明 経営とは・経営者とは						
2	理容業・美容業の経営について						
3	資金管理(収支・損益・コスト・税金)						
4	人という資源・労働者の権利						
5	従業員としての視点から・社会人としての責任 社会保険①(公的年金)						
6	社会保険②(健康保険・国民健康保険)						
7	社会保険②(介護保険) 社会保険③(労働保険)						
8	中間試験					中間試験 40点	
9	健康・安全な職場環境の実現・美容の仕事と健康問題						
10	サービス・デザイン						
11	サービス・マーケティング						
12	サービスにおける人の役割・接客の実践						
13	接客の実践・接客におけるトラブルと対応						
14	総まとめの練習問題(定期試験対策)						
15	定期試験					定期試験 60点	
【特記事項】 持ち物は、①教科書 ②筆記用具 ③iPad(タブレット)の3点セットです。3点セットは毎回持参してください。				【評価について】 ●中間試験40点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容総合技術 (Beauty politeknizm)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	飯野/佐々木
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜1.2限 水曜3.4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師として、経営者として、美容専門学校での講師としてそれぞれ10年以上のキャリアのある講師担当。 サロン内における動き方やサロン内で行われているヘアアイロン技術などを学んでいく。							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な美容道具やスタイルを考えていけるようにする							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				欠席(公欠含む)の場合は、展示動画などで授業内容を確認・実践しておくようにする			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業説明、クランプの使い方、ウエット・ドライなどウィッグの扱い方。						
2	カールアイロンの使い方						
3	カールアイロンの使い方						
4	カールアイロンの使い方						
5	ストレートアイロンの使い方						
6	ショートスタイルでのアイロン						
7	ショートスタイルでのアイロン						
8	相モデルでの練習						
9	相モデルでの練習						
10	相モデルでの練習						
11	チームでの自主作品作り(準備・練習)						
12	チームでの自主作品作りと振り返り						
13	～外部講師によるデモンストレーション～						
14	チームでの自主作品作り(準備・練習)						
15	チームでの自主作品作りと振り返り					定期試験 100点	
【特記事項】				【評価について】 ●定期試験100点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイクアップ (Hair & Makeup)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中村／鈴木／木村
学科・コース	美容師科・1年	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜1.2限 水曜3.4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容サロン(表参道・原宿)にて美容師として5年以上従事する。その後ヘアメイクアーティスト(フリーランス)として各撮影(GM・広告・カタログ)やコレクション・歌劇などのヘアメイクを15年以上従事。ブライダルのヘアメイクとしても15年以上従事し、現在も主にbride and groomのヘアメイク、アテンドを務めている講師が担当する。将来美容業に就くにあたっていろいろと参考になる知識や現在の状況、情報を学ぶことができる。美と感性をもとに、プロとして最前線で活躍できるアーティストを目指すため、ヘアアレンジとメイクの基礎技術を学ぶ。カスタマーや各媒体に対して満足のいく仕事ができること、そして楽しんでできることが大切ということを理解する。							
【授業を通じての到達目標】							
サロンや撮影現場にて行うヘアアレンジやメイクの基礎技術を身に付ける。得意不得意(好き嫌い)を克服しないとプロとしての成長にはつながらないということを理解する。ヘアアレンジはウィッグを使用。メイクは相モデルで技術を学ぶことでお客様やモデルの気持ちを理解し、全てにおいて満足してもらえる美容師・ヘアメイクアーティストを目指す。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
学校配布のヘアメイク道具 等							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション・各名前記入・各商品説明・セッティング説明 【リップ】デモンストレーション／セルフ(ポイントファンデーション(色選び)・ブラシ・ペンシルの使い方 (他応用いろいろな形)						
2	アイブロウ・リップのいろいろな形デザイン画 【アイブロウ】デモンストレーション / リップ(復習)／相モデル (他応用いろいろな形)						
3	【スキンケア(化粧水・ローションパック・パッティング・乳液・マッサージ)、下地、ファンデーション、コンシーラー、パウダー】デモンストレーション / 相モデル +アイブロウ・リップ						
4	【前回復習(スキンケア～アイブロウ)+アイシャドウ①(上にぼかす)、アイライン、マスカラ】デモンストレーション / 相モデル						
5	【前回復習(スキンケア～アイブロウ)+アイシャドウ②(斜めにぼかす)・アイライン・涙袋・マスカラ復習・】デモンストレーション / 相モデル						
6	(タイム意識40分仕上げ【前回復習(スキンケア～マスカラ①or②) +チーク、リップ復習、ノーズシャドウ、シェーディング】デモンストレーション / 相モデル						
7	フリーメイク (韓国メイク、メンズメイク、つけま、他)デモンストレーション / 相モデル (他苦手克服)						
8	中間実技テスト説明(時間、各点数) 中間テストの相モデル決めと対策40分仕上げ(タイム意識)・デザイン画20分						
9	デザイン画20分・中間テスト(フルメイク基本形)40分 / 相モデル					中間試験 50点	
10	ヘア各道具・ピン類の説明【ピンニング・表裏三つ編み・表裏編み込み・一束(ゴム一本)・丸三つ編み・丸四つ編み】デモンストレーション (他コーンロウ・ブレイズ等・クリア後相モデル可)						
11	一束復習、【ツインアレンジ①(ツイストと三つ編み)、羊ヘアアレンジ②、アレンジ③(ゆる表編み込み)】デモンストレーション (クリア後相モデル可・苦手克服)						
12	【裏編み込みハーフアップリバーズ④(カールアイロン使用)、いろいろなリボン・フラワー】デモンストレーション(クリア後相モデル可・苦手克服)						
13	【表編み込み入アップアレンジ⑤・ツインヘアアレンジ⑥(フィッシュボーン・三つ編み・ツイスト・玉ねぎ風)】デモンストレーション・(クリア後相モデル可・苦手克服)						
14	定期テスト対策(ピンニング(6/18)×6本6分・裏編み込みハーフアップリバーズ④(7/2)18分(カールアイロン使用)・アレンジ③ゆる表編み込み(6/25)20分)・定期テスト下準備(ストレートアイロン使用)						
15	定期テスト(ピンニング×6(12点)・裏編み込みハーフアップ(18点)・ゆる表編み込み(20点)					定期試験 50点	
【特記事項】 *メイク初日授業(4/16)持ち物 : 名札・エプロン・タオル3枚(白)・デバイス・メイク道具一式、ダッカード(2～4本)・羽ピン(2～3本)等、クレンジング・洗顔(フェイスタオル)・各道具に名前記入もしくは印付けのため油性ペン、マニキュア、マスキングテープ、シール(小)等 *メイク授業(4/23以降)持ち物 : 名札・エプロン・タオル3枚(白)・ゴミ袋・デバイス・メイク道具一式、ダッカード(2～4本)・羽ピン(2～3本)等、他使用したい化粧品類 クレンジング、洗顔(フェイスタオル)等。 相モデル授業のため3回目(4/30)～9回はノーメイク。まつエク・まつ毛パーマはNG。 ヘア授業持ち物 : 名札・エプロン・クラブ・ウィッグ・ピンケース・ブラシ、コーム類・ヘアアイロン(カールアイロン7/2・7/16・7/23使用)(ストレートアイロン7/16使用)				【評価について】 ●中間試験50点、定期試験50点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点) B評価(80～89点) C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失) F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論 (Technological theory)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	糠野
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜2限 木曜3限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
トップサロンで美容師としてサロンワーク、スタジオワーク、コンテストの経験を経て、現在もフリーのヘアメイク、美容師として活動する幅を広げている。 教員として16年携わり、美容師国家試験の合格を目指す学生の為、現場の現状を伝えながら、美容技術についての知識を深めていく。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師国家試験合格を目指し、各分野の美容技術を理解できるようになる。国家試験問題に対応できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理Ⅰ教科書、筆記用具（2，3色マーカー含む）							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	美容技術理論序章、美容用具						
2	美容用具・シャンプーイング						
3	シャンプーイング・ヘアデザイン						
4	ヘアデザイン						
5	ヘアカットイング						
6	ヘアカットイング復習、中間テスト前復習						
7	中間テスト					中間試験 40点	
8	パーマネントウェービング						
9	パーマネントウェービング復習						
10	ヘアセッティング						
11	ヘアセッティング復習						
12	ヘアカラーリング						
13	ヘアカラーリング復習						
14	Ⅰの復習						
15	定期テスト					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●中間試験40点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価			
				A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）			
				E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）			
				●評価方法			
				評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			